

授業科目

相談援助各論IV

担当教員名 青木 茂	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

授業の概要

相談援助の実践モデル、各種アプローチについて学ぶ。
相談援助実践に用いられる、技法や手法について学ぶ。

授業の目的

適切な相談援助を行うために、援助に関するモデルとアプローチを理解し、具体的な支援方法としてイメージできるようにする。

学習目標

- 1 相談援助における実践モデルを理解し、その特徴やキーワードを説明できる。
- 2 相談援助における各種アプローチを理解し、その特徴やキーワードを説明できる。
- 3 スーパービジョンの内容と方法、ケースカンファレンスの目的と方法のあらましを理解する。
- 4 ケースカンファレンスにおける問題把握・課題設定の、プロセスと視点を理解する。
- 5 相談援助における、個人情報の扱い、情報通信技術の現状を理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション、授業の概要	講義	青木 茂
2	実践モデルとアプローチの概要(1)	講義 テキスト第6章	青木 茂
3	実践モデルとアプローチの概要(2)	講義 テキスト第6章	青木 茂
4	心理社会アプローチ、機能的アプローチ	講義 テキスト第7章	青木 茂
5	問題解決アプローチ	講義 テキスト第7章	青木 茂
6	課題中心アプローチ	講義 テキスト第7章	青木 茂
7	危機介入アプローチ、行動変容アプローチ	講義 テキスト第7章	青木 茂
8	中間のまとめ	講義	青木 茂
9	ストレングスの活用とエンパワメントアプローチ	講義 テキスト第8章	青木 茂
10	ナラティブアプローチ	講義 テキスト第8章	青木 茂
11	その他の各種アプローチ	講義 テキスト第8章	青木 茂
12	スーパービジョン、コンサルテーション	講義 テキスト第9章	青木 茂
13	ケースカンファレンスの技術	講義 テキスト第10章	青木 茂
14	個人情報の保護と情報通信技術の活用	講義 テキスト第11-12章	青木 茂
15	まとめ	講義	

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	新・社会福祉士養成講座 8 相談援助の理論と方法II	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	2016年	2,600円+税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

期末試験により評価する。

履修上の留意点

テキストは、相談援助各論III・IVで同一のものを使用する。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日・木曜日12:10~13:00
E317(研究棟2)
shigeru-aoki@nuhw.ac.jp